

2024年2月9日

## 2024年3月期 第3四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の2024年3月期第3四半期連結決算は、売上高265,555百万円、経常利益14,137百万円となりました。2024年3月期連結業績予想については、売上高340,000百万円、経常利益16,000百万円を見込んでおります。

### 【2024年3月期第3四半期連結決算】

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、行動制限が緩和され、インバウンド需要も回復基調となり、経済活動および社会活動の正常化が進みました。

一方で、緊迫した世界情勢に加え、為替相場の変動リスク等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立90周年を迎える2025年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、3rd Stage「中期経営計画23-25」を昨年4月にスタートいたしました。基本コンセプト『SHOWAの“SHIN-KA”宣言～90年、そしてその先へ～』を掲げ、新たな財務指標とともに5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各施策を推進しております。

当第3四半期連結累計期間では、「①基盤事業の強化」において、食品事業における製油・糖質カテゴリのより一層の製品供給の安定化、コスト低減、付加価値向上に向けて国内での事業の展開を加速させるため、辻製油株式会社と昨年5月に資本業務提携を行いました。

また、創業以来初となる抜本的な営業組織改編を実施し、これまで「プロダクトアウト型」であった当社の組織を2023年4月よりマーケットイン志向の業態別・顧客別の「ワンストップ型」組織に変革し、お客様のニーズに合致する最適なソリューションを迅速に提供する販売機能に特化した組織体制に改編しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は265,555百万円と前年同期に比べ12,409百万円（4.9%）の増収となりました。営業利益は11,319百万円と前年同期に比べ6,756百万円（148.1%）の増益、経常利益は14,137百万円と前年同期に比べ7,562百万円（115.0%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,362百万円と前年同期に比べ6,319百万円（156.3%）の増益となりました。

### 【2024年3月期連結業績予想】

2024年3月期通期連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間（4～12月）の業績の動向等を踏まえ、2023年11月10日に公表いたしました2024年3月期通期連結業績予想を修正しております。

現時点において入手可能な情報及び予測等に基づいて2024年3月期通期連結業績予想を算定いたしましたので、詳細につきましては、本日（2024年2月9日）公表いたしました「通期業績予想（連結）の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>  
昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室  
TEL：03-3257-2042 担当：赤松、塩谷